

国家試験について（たたき台）

- 実施方法については、以下のとおりとしてはどうか。
 1. 出題範囲
「公認心理師として具有すべき知識及び技能」について出題することとし、科目は定めない。但し、出題基準及び医師国家試験におけるブループリントに相当するものを作成する。
 2. 出題形式及び出題数
全問マークシート形式（多肢択一式等）とし、150～200問程度とする。うち、ケース問題を半数程度とする。
 3. 実施時間等
ケース問題については1問当たり3分程度、その他の問題については1問当たり1分程度として、出題数に見合った時間を設定する。
試験事務負担を踏まえ、実施は1日間とする。

- 合格基準については、公認心理師となるための基本的事項を問う必修問題とそれ以外の問題について、それぞれ基準となる正答率を定める。また、禁忌肢問題は設けない。

検討に当たった議論の整理

1. 国家試験の実施に当たっては、最終的には試験事務を執り行う機関（一般財団法人日本心理研修センター）が上記試案も参考にしながら試験の実施計画を立てていくことが望ましい。
2. ケース問題については、試験として適切な問題が作成可能であるかどうかも踏まえ、出題割合を試験作成過程において改めて検討してはどうか。